

いしかりべんてんしゃのほうのうぶつ

石狩弁天社の奉納物

石狩弁天社には、弁天社への奉納物のほか、当初は稲荷社などに奉納されたと思われるものが含まれています。奉納者は、阿部屋（村山家）、栖原屋など、石狩場所に直接関わった大商人のほか、石狩場所の通詞（通訳）などの名前も見えます。明治以後、管理が行き届かなくなった時期があり、他の社寺に移されてそのまま保管されているものもあります。

石狩弁天社の奉納物のうち、「みょうきほうこうだいみょうじん妙亀法鮫大明神神像」と「妙亀法鮫大明神石額」は、北海道有形民俗文化財に指定されました。

（工藤義衛）

奉納物一覧

西暦	和暦	遺物名	奉納者	所在
1774	安永3	手水鉢	千秋丸水主中	金龍寺
1786	寛政元	手水鉢	小林店喜兵衛	石狩八幡神社
1808	文化5	老将絵馬額（漆絵）	宮内定右衛門	石狩弁天社
1811	文化8	弁財天木扁額（源清正印）	石狩弁天社	
1813	文化10	石鳥居	栖原屋半助・米屋孫兵工	石狩八幡神社
1814	文化11	鰐口	米屋孫兵工、柏屋善三郎外7名	石狩弁天社
1819	文政2	石狩稲荷大明神木扁額	重松伴右衛門（松前）	石狩弁天社
1825	文政8	妙亀法鮫大明神神像	山田仁右衛門	石狩弁天社
1829	文政12	神灯一对	村山・栖原	石狩弁天社
1836	天保7	石狩稲荷大明神神札	村山傳次郎・長三郎・梶浦外	石狩弁天社
1838	天保9	妙亀法鮫大明神石額	小川幸右衛門（江戸）	石狩弁天社
1839	天保10	恵比須神像（自然石）	石狩弁天社	
1844	天保15	稲荷像（瀧幸作）	因藤多四郎	石狩弁天社
1845	弘化2	礼拝器一对（大内石可作）	梶浦五三郎・湖河長左衛門他	石狩弁天社
1849	嘉永2	毘沙門天御神体修復成就神札	阿部屋傳次郎。同甚六	石狩弁天社
1849	嘉永2	大黒尊体御神体御修復成就神札	阿部屋傳次郎。同甚六	石狩弁天社
1856	安政3	関羽正装絵馬額（文昌作）	石狩弁天社	
1856	安政3	清正虎退治絵馬額（文昌作）	石狩弁天社	
不明	不明	狛犬一对（石像）	柏屋久兵工	石狩弁天社

（1）石狩弁天社創建三百年記念事業実行委員会編（1994）石狩辨天社史。